

エンジンの調子はどうかな？

機関点検はシーズン前に！

船を出したくなる暖かな季節がもうすぐやって来ます。しかし、長く動かしていなかった船で、いきなり海へ乗り出すのは危険です。船を動かす前に、エンジン等をしっかり点検しましょう。

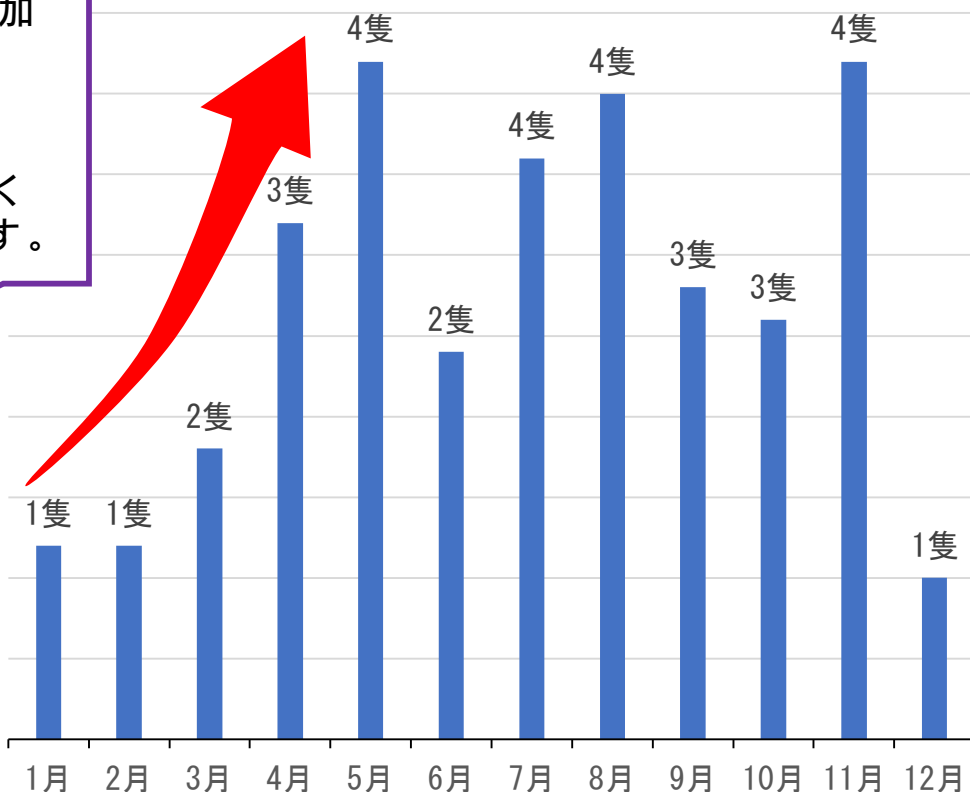
春先から事故が増加する傾向です。

「機関故障」

「推進器障害」

による運航不能が多く、の割合をしめています。

プレジャーボート事故数（5年平均）



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず屋 検索

発航前のチェックリスト！

発航前点検は、船長の義務です。
発航前の点検義務違反は行政処分の対象になります。

エンジン始動前の点検

船体の検査

- 船体に亀裂や破口はないですか。
- エンジンルームや船底のビルジ(汚水)の量は普段より多くないですか。



エンジンの検査

- 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- 燃料コック(バルブ)は開いていますか。
燃料フィルタやセジメンター(油水分離器)にゴミや水分の混入はないですか。
- エンジンオイル(潤滑油)の量は十分ですか。
- 冷却清水の量は十分ですか。
- バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分に締め付けられていますか。



救命設備等その他の検査

- ライフジャケットを着用しましたか。
- 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



エンジン始動後の点検

エンジンの状態確認

- 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- 冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか。



自己救命策確保3つの基本

- 1 海の事件・事故は海上保安庁緊急通報番号**118番**へ！
- 2 ライフジャケットの常時着用！
- 3 連絡手段の確保！



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

